

# 飛躍

静岡県東部地域の活性化を考える

2020年度のあゆみ

# C O N T E N T S

---

● ごあいさつ	3
● 2020年度のあゆみ	4
● 25周年-I 地域をけん引した懇話会活動	6
● 25周年-II 25年のあゆみ	8
● 特集 I ファルマバレープロジェクトの1年	10
● 特集 II 変わる観光の在り方	12
● 特集 III 「場の力」生かす地域振興	14
● 懇話会活動を広く情報発信 SBSラジオ「土曜ワイド ラジオEAST」	16
新聞特集記事「風は東から」	17
● 2021年度活動方針	18
● サンフロント21 懇話会会員名簿	20
● 2020年度を振り返って(運営委員長)	27

※各ページの肩書等は行事開催時のものです。

# ごあいさつ



サンフロント21懇話会  
副代表幹事

岩崎 清悟

2020年度は新型コロナウイルスのパンデミックにより、社会、経済が大きく揺さぶられた1年でした。三密回避や自粛を余儀なくされる中で、働き方や余暇の過ごし方などに大きな変容を迫られました。ワクチンの早期普及により感染が収束に向かい、清々しい日常を取り戻せることを強く願っております。

さて、1年の延期とはなりましたが、今夏に予定される東京五輪・パラリンピックへの期待の大きさは変わりません。県内では自転車競技が繰り広げられ、伊豆市はトラックとマウンテンバイク、小山町の富士スピードウェイなどがロードレースの舞台となります。ウィズコロナ時代の新たな五輪・パラのモデルとして感染防止に万全の対応を図りつつ、期間中の盛り上がりとその後のレガシーづくりについても後押しをしていきたいと考えています。

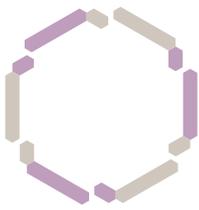
政治では、昨年9月に安倍長期政権を引き継ぐ形で菅義偉内閣が発足しました。コロナの抑え込みと経済活性化の両立という難題に呻吟する中で、五輪・パラの開催可否判断を迫られ、衆院の解散・総選挙も視野に入ってきました。また海外では、昨年11月の米大統領選で民主党バイデン政権が誕生し、分断を露呈した米国社会の融和回復や対中国競争への同盟による対峙など、トランプ政権とは異なる政策を推し進めています。米中の狭間で我が国の主体性をいかに見出すか、まさに真の外交手腕が問われることになりましょう。

経済では、コロナ禍で個人消費が抑制され、小売りや観光、運輸などが大きく低迷する一方、株価は一時3万円の大台を超えました。世界的な金融緩和を背景とした相場で、市民の肌感覚とは大きく乖離しており、自律的な経済の回復にはもう少し時間がかかるのではないのでしょうか。

そんな中で明るい話題もありました。探査機「はやぶさ2」が小惑星リュウグウから岩石の採取に成功した偉業は、日本中を沸かせました。藤枝順心高の全日本高校女子サッカー選手権2年連続5度目の優勝は、サッカー王国静岡の面目躍如の快挙でした。大相撲11月場所で十両優勝し、初場所で新入幕を果たした翠富士は、焼津市に生まれ飛龍高校の出身です。小兵ながら繰り出す技の数々とともに県民に元気を与えてくれました。さらに、第164回芥川賞では沼津市生まれの大学生宇佐見りんさんが受賞し、若い才能の今後の活躍が期待されます。

サンフロント21懇話会が四半世紀以上の長きにわたり、地域振興に向けた活発な活動を継続できるのは、多くの会員の方々によるご尽力のおかげです。本年も、新産業創出や既存産業の持続的発展、新たな観光価値の創造などで地域を支えてまいります。コロナへの対応などに注意を払いながら運営に努めてまいりますので、引き続き皆様のご支援とご理解をお願い申し上げます。





# 2020 年度のあゆみ

日本総合研究所主席研究員

**藻谷浩介**

「コロナ時代の伊豆観光を考える」



明治大政治経済学部教授

**海野素央**

「アメリカ大統領選。裏側とそこから見えるもの」



東京海洋大名誉博士

**さかなクン**

「豊かな海、駿河湾からの恵み」



## ◆2020年5月

### 活動記録「飛躍」発行

2019年度の活動内容をまとめた冊子「飛躍（A4判、28ページ）」を発行。総会、分科会の活動の足跡をはじめ、19年度の活動テーマに沿った地域の動きについて掲載。2020年度の活動方針も紹介した。



## ◆2020年5月29日

### 役員会

新型コロナウイルス感染症に対応し、総会に代えて沼津市のサンフロントビルで役員会を開き、2020年度活動方針などを正式に承認した。

活動方針には、東部で自転車競技が開かれる東京五輪・パラリンピックを契機としたスポーツ産業の推進、ファルマバレーや農業の生産性革新を図るアグリオープンイノベーションなどのプロジェクト推進への支援、観光産業での新たな展開の提案などを盛り込んだ。動物愛護と福祉思想の普及や沼津市の原・浮島地区でのサッカー新スタジアムなどのまちづくり構想実現も支援する。

谷川治静岡新聞社常務、懇話会の岩崎清悟副代表幹事は「地域に密着し、活性化に資する研究や提言活動に取り組みたい」などとあいさつした。

## ◆2020年6月

### 25周年記念誌を発行

懇話会活動の今までを振り返る設立25周年記念誌を作製した。医療産業を核にしたファルマバレープロジェクトや観光振興、コンベンション機能促進への支援など、懇話会のこれまでの歩みをまとめた。

記念誌はJR沼津駅北口のイベント施設「キラメッセぬまづ」(後にプラサヴェルデに発展)など、懇話会の地元自治体や県への提言をきっかけに実現、推進した事例を紹介するとともに、県東部の今後を展望する座談会や東部市町長の懇話会への期待の声を掲載した。A4判、32ページ。会員や東部の市町、図書館、商工会議所などに配布した。



## ◆2021年1月28日

### 全体会

新型コロナウイルスの感染防止策として、ビデオ会議アプリ「Zoom(ズーム)」を活用したオンライン形式で実施。明治大政治経済学部の海野素央教授が、20年11月の米大統領選を振り返るとともに、バイデン政権発足後の日米関係について語った。

オンラインでの開催に約150人が登録。視聴会場が設営された沼津市のサンフロントには約20人が集まった。



## ◆2020年10月27日

### 伊豆地区分科会

伊豆地区分科会は新型コロナウイルス感染防止のためにオンライン講演会の形式で実施。日本総研主席研究員の藻谷浩介氏を講師に、ウイズコロナ時代に対応した伊豆観光の在り方を探った。

インターネットで動画を生配信したオンライン講演会には約140人が登録し、沼津市のサンフロントには視聴会場が設けられた。講演では藻谷氏が登録者に質問の回答を求めたりして、オンライン上でやりとりしながら進める場面もあった。



## ◆2021年2月24日

### 東部・富士山地区合同分科会

東部・富士山地区合同分科会にはオンライン上で約150人が登録した。海洋分野の専門家らが「駿河湾の海洋資源と環境保全」をテーマに、日本一深い駿河湾の魅力や活用の可能性、保護に向けた方策などを探った。

基調講演は東京海洋大名誉博士でタレントのさかなクンが、駿河湾に生息する海洋生物の魅力を、イラストを交えて紹介した。





# 地域をけん引した懇話会活動

静岡県東部の産学官がつどい、地域活性化に向けて活動するサンフロント21懇話会が設立から25年を迎えました。この間、県知事への提言や地域の問題解決に向けた各地区分科会の開催など、積極的な活動を展開しました。



## 25年間に8回の提言

懇話会の懇話会たるゆえん。それは、数々の地域課題を見つけ出し、その解決法を見出し、提言につなげていることです。25年間に計8回の提言書を市

や県に提出しました。提言をきっかけに地域が大きく動き、実現した例を紹介します。

### 1. 仮設イベント施設の実現(1996.12.24提言)

沼津駅北口再開発事業が本格的に始動するまでの時限措置として、「沼津駅北口仮設イベント施設」を提言。県東部での賑わいづくりの拠点づくりの必要性を説きました。のちに仮設イベント施設は沼津市の主導で、「キラメッセぬまづ」として誕生しました(後にプラサヴェルデに発展)。



### 2. ファルマバレー構想の早期実現(2002.12.4提言)

静岡がんセンターの開院を機に本格スタートした「ファルマバレー構想(現:プロジェクト)」。懇話会は構想の目標を達成するため、構想推進センターの早期稼働や産業クラスター形成の仕組みづくりなどを提言。また、冊子「動き出したファルマバレー構想」を

発行するなど、同構想の理解促進を後押ししました。



### 3. ラグビーW杯を契機としたビジネスマッチングの機会創出(2019.7.8提言)

ラグビーW杯開催期間中、各国のビジネスエリートが長期滞在し、国際的な経済交流の場を持つのが通例です。神奈川県側からのオファーを受け、懇話会と県は共同で東部地区分科会を「静岡国際ビジネス交流会in東部」とし、ロシア、イタリア大使館関係者や県東部、神奈川県の経済人らが交流しました。



#### 活動方針は地域課題を映す鏡



年間の活動方針は、そのまま県東部地域が持つ課題でもありました。活動方針に沿い、毎年3回開催

される各地区分科会はこの25年間で延べ76回に上ります。主な活動方針を紹介します。

#### 1. 地方分権・広域連携の推進

設立からしばらくは、いかに地方分権社会を実現するかが大きなテーマ。日本中で平成の大合併が進み、県中・西部には政令市が誕生しました。しかし、東部は強力なリーダーシップを発揮できる自治体がなく、小規模な合併に留まりました。



#### 2. 観光振興

1991年をピークに、伊豆の宿泊客数は減少傾向となり、伊豆の観光活性化は県東部地域にとって長年の命題となっています。国が観光立国に大きく舵を切る中で、観光のテーマも体験型、周遊型、観光圏、インバウンドと目まぐるしく変わりました。



#### 3. ファルマバレープロジェクトと新産業の創出

ファルマバレープロジェクトが始動し、医療と地域産業との橋渡しをはじめさまざまな施策が進んでいます。国の医療特区指定や、2019年度医薬品・医療機器生産額が10年連続1位になるなど、全国から注目されています。



このほか、「世界遺産の保全と活用」「人と動物の共生社会の実現」「スポーツによる観光振興」「交通インフラの整備支援」など、その時々タイムリーな課題を抽出しています。

2020年6月には25周年を記念した記念誌(A4判、32ページ)を作製。会員や東部の市町、図書館、商工会議所などに配布しました。





# 25年のあゆみ

## 1995年度(平成7年4月～8年3月)

- 6月 12日、設立総会をホテル沼津キャッスルにて開催。会員365人。地区割を決定。
- 9月 第1回伊豆地区分科会。
- 11月 全体会開催。
- 1月 第1回沼津・三島・駿東地区分科会。
- 3月 第1回岳南地区分科会。



## 1996年度(平成8年4月～9年3月)

- 4月 県東部の情報番組SBSラジオ「土曜ワイドラジオイースト」放送開始。
- 5月 シンクタンク「TESS」の設置を決定。
- 12月 県観光活性化センター、仮設イベント施設についての提言書を石川嘉延知事に提出。



## 1997年度(平成9年4月～10年3月)

- 2月 懇話会が提言した静岡県東部の本格的展示イベント施設「キラメッセぬまづ」起工式。

## 1998年度(平成10年4月～11年3月)

- 4月 静岡新聞「風は東から」連載開始。
- 10月 「キラメッセぬまづ」オープン。

## 2002年度(平成14年4月～15年3月)

- 4月 伊豆の観光ポータルサイト「ゆうゆうネット伊豆」がリニューアルオープン。



## 2004年度(平成16年4月～17年3月)

- 懇話会設立10周年記念として、04年度、05年度の2カ年にわたり様々な行事を開催。
- 8月 懇話会ホームページ開設。
- 9月 10周年記念事業として、創業セミナー、海外視察等を発表。

## 2005年度(平成17年4月～18年3月)

- 5月 北欧へ技能五輪視察団派遣。(フィンランド・ヘルシンキ)

## 2007年度(平成19年4月～20年3月)

- 9月 特別シンポジウム「合併 新時代への道」を開催。
- 3月 コンベンション都市間競争を勝ち抜くために「沼津駅北拠点施設整備構想」を石川嘉延知事に提言。



## 2008年度(平成20年4月～21年3月)

- 10月、2月、3月 富士山静岡空港カウンタダウンシンポジウムを計3回開催。

## 2011年度(平成23年4月～24年3月)

- 6月 「動物の愛護と福祉のセンターの推進」を川勝平太知事に提言。

## 2014年度(平成26年4月～27年3月)

- 2月 富士山世界遺産登録を受け、富田貫湖畔に世界的な彫刻家・流政之氏の石の彫刻をあしらった展望施設を整備。懇話会は施設整備を支援した。



## 2016年度(平成28年4月～29年3月)

- 11月 「人と動物が共生できる社会の実現」を目指した活動がNPO法人「人と動物のハッピーライフ」として具体化。

## 2018年度(平成30年4月～31年3月)

- 5月 伊豆産ワサビのガイドブック「わさび美(うるわ)し」を発刊

## 2019年度(平成31年4月～令和2年3月)

- 7月 「ラグビーW杯を契機としたビジネスマッチング」を提言。
- 10月 東部地区分科会は、県と協働で「静岡国際ビジネス交流会in東部」を開催。懇話会会員、神奈川県の人らと長泉町のヴァンジ彫刻庭園美術館で交流した。

## コロナ禍の懇話会活動



新型コロナウイルス感染症に対応し、活動の内容も大きく変化した1年。各種会合はオンラインとリアルとの併催となりました。参加者からは、時間

の有効活用ができるといった声がある一方、会員同士が実際に会い会話を交わす重要性も再認識されました。

### ○オンラインを活用し、双方向コミュニケーションを体験

懇話会初のオンライン講演会の形式で実施した10月の伊豆地区分科会。インターネットで動画を生配信したオンライン講演会には約140人が登録、サンフロントビルには視聴会場を設けました。講演では藻谷氏が登録者にその場で質問をし、回答をリアルタイムでグラフで見せるなど、オンラインならではの講演会となりました。また、分科会の映像と資料は懇話会のホームページで閲覧できるようにしました。

続く1月の全体会、2月の東部・富士山地区合同分科会でもオンラインとリアルとの併用で行いました。今後、この流れは続いていくと思われます。



#### ■参加者の声 (伊豆地区分科会アンケートより抜粋)

コロナ禍における分科会の開催形式として、今後も当然必要となる形態

質問形式による双方向の講演会だったので、ライブ感があって良かった

その場で質問、回答、集計、グラフ表示とWebの機能をうまく活用していた

オンラインは移動に時間がとられないのでありがたい

### ○特集「風は東から」に新シリーズ

毎月1回東部・伊豆地域の動きを伝える「風は東から」は、8月より新たに「ウイズコロナ時代の地域づくりを考える」と副題を付け、地域のキーパー

ソンに課題や対応策をインタビュー形式でシリーズ化しました。

8/27 掲載	正解のないコロナ対策	安全な旅の在り方模索
9/24 掲載	コロナ克服へ施策続々	伊豆観光の新様式模索
10/22 掲載	新たな施策次々投入	品質向上、省力化が鍵
11/26 掲載	コロナ時代の伊豆観光	現実見据え意識改革
12/24 掲載	コロナ禍で新市場出現	技術と行動で開拓を
1/28 掲載	医療用ガウン地産化へ	行政、民間一体で推進
2/25 掲載	スポーツ軸にまちづくり	地域資源の活用がカギ
3/25 掲載	日本の医療産業をけん引	ファルマ第4次計画はじまる



# ファルマバレープロジェクトの1年

19年目のファルマバレープロジェクト。コロナ禍で医療体制が揺らぐ中、本県は長年の危機管理やファルマバレーの取り組みにより、深刻なダメージを回避しています。2021年度からは新たに同プロジェクトの第4次戦略計画が始まります。



## 人生100年時代の住まいの在り方模索



21年3月、ファルマバレーセンター1階に高齢者のための住まいの在り方を考えるモデルルーム「自立のための3歩の住まい」がオープンしました。これは、人の寿命と健康寿命の差である約10年間で、さまざまな最新機器や技術を活用し最後まで自立した生活ができる仕様にしたものです。立ち上がりをサポートする高機能ベッドを起点に、バス、トイレまで数歩で移

動できる間取りの他、壁や床材は抗菌、抗ウイルスなどの新素材を採用。ディスプレイでは遠隔診療や離れた家族との会話が可能です。

モデルルームは県民、医療・介護関係者、企業などに広く一般公開され、20年後に向けたものづくりや新たなサービスの開発につなげていくことが期待されています。



■立ち上がり補助ベッド



■高機能アームとノズルで温浴効果も十分な温浴シャワー

## コロナ禍で力を発揮した企業ネットワーク



ファルマバレーが培ってきた地域のものづくり企業のネットワークが、コロナ禍での医療機器や衛生用資材の不足という窮地を救うことになりました。平時には自動車や紙製品を作る企業が、緊急時には既存の設備や技術を生かし、マスクの製造装置や不織布の医療用ガウンを製造しました。また、樹脂加工を得意

とする企業は、病院などの受付用シールドや採血用シールドを次々と開発しています。

県はこうした緊急時の対応をより迅速に行うため、仕組みづくりを積極的に進め、コロナ対策の製品開発のための補助金を付けるなどを行っています。



■細かなオーダーに対応する天間特殊製紙の小型の試作用機械



■医療現場のニーズを的確に捉えた採血用シールド

## 第4次戦略計画がいよいよスタート



ファルマバレーを中心とした「ふじのくに先端医療総合特区」は国の高い評価を受けています。県は、一昨年山梨県と医療健康産業政策の連携を締結。このたび山梨県の7市町を加えた新たな「ふじのくに先端医療総合特区」を申請。県境をまたいだ大きな特区になります。こうした取り組みで、静岡県の実業

品・医療機器の生産高(2019年度約1.2兆円)は10年連続日本一となりました。2021年度からは第4次戦略計画が始まります。「ものづくり」「ひとづくり」「まちづくり」「世界展開」の4つで医療城下町(メディカルガーデンシティ)のさらなる発展を目指します。

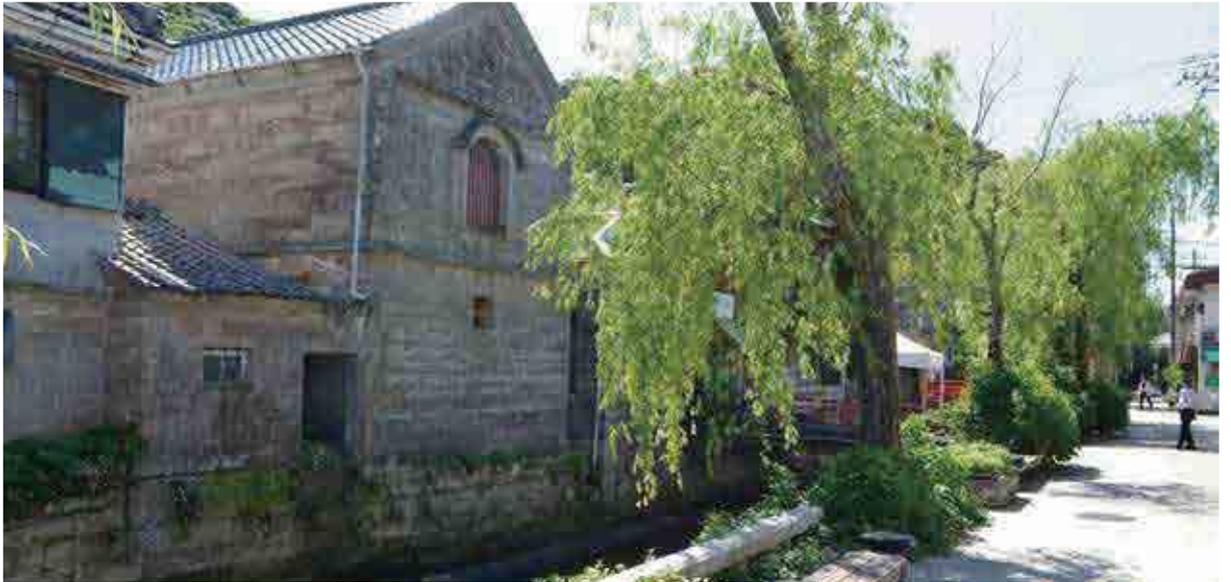


■ファルマバレーセンター



## 変わる観光の在り方

新型コロナウイルスのまん延になかなか歯止めがかからない中、観光産業は大きな打撃を受けています。伊豆を中心に観光を基幹産業としている地域はこの危機にどう対応していくのか。様々な角度から解決法を探りました。



### 新たな観光の在り方とは

特集記事「風は東から」では、観光を基幹産業とする伊豆の首長に、今後の観光振興や安全安心を

どのように担保していくかを緊急インタビューしました。



#### ●齊藤栄熱海市長

齊藤市長は「安全安心を前面に官民で対応策を次々打ってきた」と語ります。試金石となった7月23日の海開き。サンビーチにはゲートを設け、AI搭載カメラを設置、入場時間ごとに色の違うバンドを配布し、1時間ごとに市のHPやツイッターで発信しました。



#### ●松木正一郎下田市長

「下田モデルを確立し、都市観光の魅力を整備したい」と意気込む松木市長。都市計画の専門知識を生かし、旧市街地を歩いて楽しめるまちづくりを進めています。「場の力」を最大に生かした取り組みが始まっています。



#### ●菊地豊伊豆市長

「魅力磨きと受け皿整備で観光体質改善の好機に」と語るのは菊地市長。同市の強みであるアウトドアコンテンツを中心とした旅の提案を強化するとともに、地の利を生かしたワーケーションの受け皿整備を加速させます。



#### ●星野浄晋西伊豆町長

いち早く地域通貨「サンセットコイン」を導入し、域内経済の復活を目指しています。また、漁業や農業に活気を取り戻すための直売所「はんばた市場」は町内、観光客双方から支持を集めています。

## 伊豆にしかない魅力を



### 伊豆地区分科会 2020.10.27

伊豆地区分科会は分科会初のオンラインで行われました。日本総研主席研究員の藻谷浩介氏が「コロナ時代の伊豆観光を考える」をテーマに講演しました。

#### ■講演

##### 「コロナ時代の伊豆観光を考える」

#### ○講演者

日本総研主席研究員 藻谷浩介氏

#### ○講演要旨

参加者への事前調査で、来年に延期された東京五輪・パラリンピックを9割以上が「ある」と回答した。自転車競技会場となる伊豆地域で前向き意識が目立ったことに、私も同じ認識だ。東アジアは新型コロナウイルスの感染者数が少ない。欧米などから見れば、日本に滞在した方が選手の感染リスクが抑えられる。中止する理由がない。



訪日外国人は近い将来に需要が復活し、特に中国人が増えるだろう。今後の観光戦略は観光客に長期宿泊してもらい、客単価を高めることが重要だ。日帰りや1泊2日の団体客を取り込む戦略は時代遅れ。コロナ禍が落ち着いて訪日外国人需要が回復するまでに、伊豆でしか体験できない食文化や独特の風土を打ち出してほしい。

## ○スポーツで交流人口拡大を

交流人口の拡大で、地域活性化を図る取り組みは各地で加速しています。観光は言うに及ばず、スポーツを切り口とした施策もその一つ。東部、

伊豆の豊かな自然や地域資源を生かしたスポーツ人口の増加によるまちづくりが始まっています。



■フェンシング日本代表の迫力ある練習風景(沼津市提供)

#### ●沼津市

##### フェンシングのまちへブランド化加速

同市は日本フェンシング協会(太田雄貴会長)と包括的連携協定を結びました。小中学生を対象としたオリンピックの育成や練習拠点整備、大会誘致などを積極的に行っています。



■市内を走るレバンテフジの選手(富士市提供)

#### ●富士市

##### 自転車の聖地目指しルート整備着々

同市はサイクルツーリズムに力を入れています。同市を通る太平洋自動車道がナショナルサイクルルートの候補に選定され、富士山1周サイクリングルートも設定されています。



## 「場の力」生かす地域振興

新型コロナウイルスに翻弄された2020年度。しかし、東部・伊豆では新たな取り組みが次々と顕在化した1年でもありました。「ピンチはチャンス」、社会の在り方が大きく変わった時こそ、地域の「場の力」が試されます。



■豊かな恵みにあふれる駿河湾 (MaOI機構提供)

### 実証都市「ウーブンシティ」が裾野市に出現



2020年1月にトヨタ自動車が発表した「コネクティッド・シティ」プロジェクトは、今年2月23日(富士山の日)に着工しました。人とモノをIoT(モノのインターネット)やAI(人工知能)でつなぐ、いままでにないまちづくりとして注目されています。建設地となる裾野市はその動きに呼応して、デジタルによるまちづくりを目指す

「SDCC(スソノ・デジタル・クリエイティブ・シティ)構想」を進めています。MaaSの推進やグローバル人材の育成、スマート自治体の推進など9つの重点項目を掲げ、規制緩和を呼び水に地域のニーズや課題を提示。企業や大学、研究者の参画を促しています。



■裾野市役所



■ウーブンシティ(静岡新聞提供)

## 駿河湾の恵みの活用とMaOI(マリンオープンイノベーション)プロジェクト

### 東部・富士山地区合同分科会

2021.02.24

東部・富士山地区合同分科会は、昨年7月に清水区に拠点を構えたMaOIプロジェクトと海洋資源の活用と保全を議論しました。



■安永氏

■大津氏

■渡邊氏

■中山氏

#### ■パネル討論

##### 「駿河湾の海洋資源と環境保全」

#### ○パネリスト

沼津港深海水族館副館長 安永 正氏  
沼津工業高等専門学校教授 大津孝佳氏  
マリンオープンイノベーション(MaOI)機構  
専務理事 渡邊眞一郎氏

#### ○進行

企業経営研究所理事長 中山 勝氏

#### ○パネル討論要旨

MaOI機構の渡邊眞一郎専務理事は、「食や医療、健康などへの活用可能性が広がり、東部地域では豊かな暮らしの実現に向けた先進的な取り組みができる」と可能性に言及。沼津港深海水族館副館長の安永正氏は、「生物や環境を学び、興味を持つきっかけにもつなげたい」。また、沼津高専教授の大津孝佳氏は、「地域社会が連携して駿河湾の環境を身近な問題として捉えていくべき」と訴えました。

## 新テーマ続々と

### 農業の未来を 拓くAOI プロジェクト



農業を取り巻く環境が大きく変わる中、AIやIoTを活用した効率的な農業の推進や、新たな栽培方法を模索するAOIプロジェクトを紹介。地域の農業を支えるJAにもスポットを当てました。

家族の一員としてのペットの存在がますます大きくなる中、動物愛護法の規制強化や哀願動物看護師の国家資格が進む現状を取り上げました。



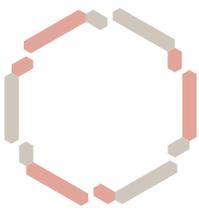
### 人と動物の 共生社会を 目指す

### 夢の素材 「CNF」



■環境省提供

未来の素材として研究が進んでいる「セルロースナノファイバー(CNF)」。製紙で培った技術を生かした、富士市周辺の拠点化を見据えた動きなどを特集しました。



## 懇話会活動を広く情報発信

# SBSラジオ「土曜ワイド ラジオEAST」

<http://www.at-s.com/sbsradio/program/east/>

**SBSラジオ 毎週土曜日**  
11:00~12:55

サンフロント21懇話会がバックアップし、東部・伊豆の地域情報を2時間にわたり放送。清水町の大型ショッピングセンター「サントムーン柿田川」内のサ

テライトスタジオ「LISPA」から毎週旬な情報を生放送しています。コロナ禍のラジオの在り方を見直した1年でした。



<http://www.at-s.com/sbsradio/program/east/>

### ■ラジオEAST 番組ホームページ

番組で取り上げた話題を写真とテキストで紹介しています。

番組公式Twitterも好調です。3人のリポーターがそれぞれアカウントを持って、担当コーナーの裏話をつぶやいています。



# 静岡新聞特集記事「風は東から」

<http://www.sunfront21.org/index.html>

## 静岡新聞東部版・朝刊

毎月第4木曜日掲載

掲載は23年目に入りました。東部地域の活性化に向けたさまざまな取り組みや、懇話会活動の一端を毎月1回、新聞紙上で紹介しています。

各地区分科会はオンライン開催の様態を伝えるなど、大きな変化がありました。

## 静岡新聞連載記事「熱き地域人」

本紙に連載。地域振興に取り組む懇話会会員の「熱き思い」をインタビュー形式で紹介しています。

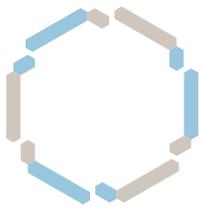


<http://www.sunfront21.org/index.html>

## サンフロント21懇話会ホームページ

懇話会活動がひと目で分かるホームページ。懇話会の設立主旨や沿革をはじめ、新聞の特集記事「風は東から」のバックナンバーや、1年間の活動をまとめた冊子「飛躍」などが閲覧できます。





# 2021年度活動方針

2021年度は、中長期的な視点で継続的に取り組む提言・支援活動を

- ▽地域創生につながる新産業創出と既存産業の持続的発展を支援
- ▽新たな観光価値創造への取り組みを支援
- ▽動物愛護と福祉思想の普及活動支援と新たな展開を支援
- ▽「原・浮島地区まちづくり構想」実現に向けた支援に決めました。

## 地域創生につながる新産業創出と既存産業の持続的発展を支援



### 東京五輪・パラリンピック開催を契機とするスポーツ産業の推進を支援

東京五輪・パラリンピックは一年の延期となりましたが、伊豆市で自転車のトラックやMTB（マウンテンバイク）競技、富士山麓を周回し小山町の富士スピードウェイをゴールとするコースでロードレースが開催され、地域振興の好機であることに変わりありません。東京五輪・パラリンピックを新たなスポーツ人口拡大と新産業創出の機会と捉え、県東部の市町が広域的に連携したサイクルツーリズムをはじめ、新たな観光交流の促進、既存産業のスポーツ産業参入につなげていきたいと考えます。

また五輪・パラリンピック終了後のレガシー構築についても支援をしていきます。

### ファルマバレー、アグリオープンイノベーションなどのプロジェクト推進

2016年に新産業の研究開発拠点ファルマバレーセンターが、静岡がんセンターに隣接して開設されました。2019年に静岡、山梨両県が締結した医療健康産業政策に関する連携協定により、ファルマバレー・プロジェクトの一層の発展が期待されています。健康寿命延伸および新産業創出の視点から、同プロジェクトが進める、人生100年時代へ向けた自立支援に必要なモノづくりや人材の育成・活用について支援をしていきます。

2017年、沼津市に開所した農業先端技術研究拠点「AOI-PARC」は、「農・食・健」の連携により農

業の生産性革新を図るアグリ・オープンイノベーションプロジェクトの拠点で、高糖度トマトの安定生産などに貢献しています。研究、生産や流通、販売までを含む6次産業化を目指した新たな構想の支援についても考えていきます。

「水産・食品・創薬」のマリンバイオテクノロジーを核としたイノベーションによる地域の振興や産業の創出を目指す「MaOI」プロジェクトは、2020年11月に拠点となる「MaOI-PARC」が開所し、本格的な推進体制が整いました。研究成果の産業応用の支援などを検討します。

トヨタ自動車が裾野市に建設する実証都市「コネクティッド・シティ」は、AI（人工知能）など先端技術を駆使した未来の都市モデルです。2021年2月に着工しましたが、裾野市をはじめ県東部各市町の関連した取り組みを支援していきます。

### セルロースナノファイバー(CNF) 実用化へ認知度向上を支援

木材繊維を高度にナノ化した「セルロースナノファイバー(CNF)」は、未来の素材として研究が進められています。鋼鉄の5倍の強度を持ち、軽くて加工しやすい上、リサイクル性にも優れています。食品や化粧品なども含め広い分野での製品化も進み、自動車分野への展開も期待されています。富士市など県東部は紙パルプ製紙業の蓄積があり、CNF事業拠点となり得る可能性が高いと考えられます。用途開発や実用化に向けた認知度向上、情報発信に関する支援をしていきます。

## 新たな観光価値創造への取り組みを支援



### 観光産業での新たな展開を提案

伊豆の国市の「葦山反射炉ガイダンスセンター」、富士宮市の「富士山世界遺産センター」はいずれも独自の世界遺産の価値を学ぶ新たな観光の拠点となっています。学習型観光を深めリピーターの育成につなげ、持続的に観光地の経済振興に寄与していきます。

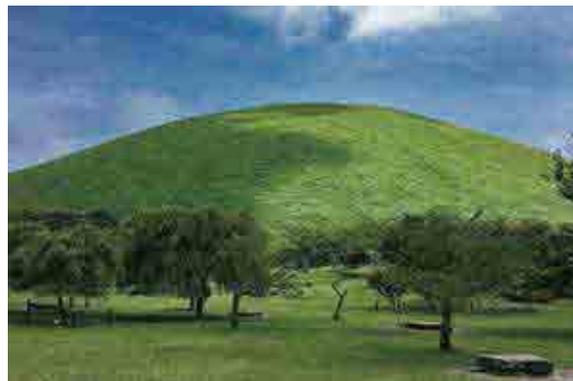
2019年1月に伊豆縦貫道を構成する天城北道路が全線開通し、下船原まで伸びました。“現代の天城越え”区間とも呼べる計画も進み、格段の観光振興が期待されます。広く観光価値創造への支援をします。

新型コロナの中で新たな観光の在り方への模索が続いていますが、今までの方向性を見直し、観光地としての体質改善を図る好機でもあります。観光地やリゾート地で休暇を取りながらテレワークする「ワーケーション」などに着目し、競争力アップにつながる支援をしていきます。

### 伊豆半島の魅力を明確化、情報発信を支援

地域活性化につなげる取り組みとして、川端康成をはじめ数多の文豪を虜にしてきた伊豆ならではの宿、食、温泉といった魅力を明確化し、新たな観光誘客やまちづくりを支援していきます。

ユネスコから「世界ジオパーク」として認定を受けた伊豆半島ジオパークも、その活用に向けた支援策を検討していきます。



## 動物愛護と福祉思想の普及活動支援と新たな展開を支援



懇話会が静岡県知事に提言した動物保護施設（アニマルシェルター）の設置に始まる動物愛護の啓発活動は、NPO法人「人と動物のハッピーライフ」の活動により、着実に成果を上げてきました。長泉町の「動物先端医療センター」をはじめ、県東部地域は「人と動物が共に生き・幸せに暮らせるまちづくり」の

先進地区として歩みを進めています。

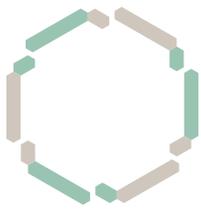
動物と人とのかわりは現在、愛護から共生へと変化しています。県東部で検討されている「愛玩動物看護師」の養成、教育機関の設立について、情報発信などを通じて支援していきたいと考えます。

## 「原・浮島地区のまちづくり構想」実現を支援



これまで水害などの懸念があった原・浮島をはじめ今沢・愛鷹など沼津市の西部地域は、新放水路や東名、新東名のスマートインター整備、東駿河湾環状道路の西進などで、発展の可能性が高まっています。

またサッカー新スタジアムや道の駅の新設、新駅設置など、この地区の新たな人の流れやにぎわいの創出に向けて広く支援をしていきます。



# 会員名簿

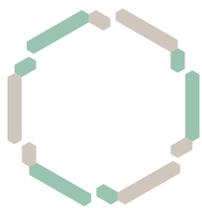
## ● 会員 (2020年度)

氏名	会社名	役職
相吉 三宏	静宏産業(株)	代表取締役
青木 直己	静岡県富士土木事務所	所長
青島 伸明	(株)安心堂沼津店	店長
青山 茂	(株)シード	取締役副社長
赤尾 宣長	(株)ホテルニューアカオ	代表取締役社長
赤堀 肇紀	赤武エンジニアリング(株)	代表取締役社長
秋元 利之	(株)片岡屋	代表取締役社長
秋山 治良	(株)ホテルサンパレー	代表取締役
揚野江利子	あげの法律事務所	
浅羽 一秀	あさば旅館涵翠閣	代表取締役
浅見 祐司	富士信用金庫	理事長
芦川 勝年	沼津市商店街連盟	会長
足立 吉松	足立会計事務所	所長
阿武野康広	(株)センス	代表取締役
飯澤 貴志	(株)日本政策金融公庫沼津支店	支店長兼国民生活事業統轄
飯田 悦郎	飯田工業薬品(株)	代表取締役
飯田 互	大東紡エステート(株)	取締役社長
伊海 剛志	(株)イカイ	代表取締役社長
井口 賢明	あさひ総合法律事務所	所長
池田 修	長泉町	町長
池田 誠	医療法人社団 聡誠会	理事長
池谷 晴一	小山町	町長
石井 英司	(株)静岡銀行沼津支店	執行役員支店長
石井 太郎	(株)富陽軒	専務取締役
石井 誠	(株)石井組	代表取締役社長
石川 三義	社会福祉法人春風会	理事長
石川雄一郎	石川建材工業(株)	代表取締役社長
石野 寿雄	株式会社エフエムみしま・かんなみ	代表取締役
石部 哲也	静岡新聞社	東部総局参与
石川 哲史	静岡県東部地域局	次長兼地域課長
伊丹 秀之	(有)松韻	代表取締役社長
伊丹 雅治	三島市 県議会議員	県議会議員
井出 正浩	(株)井出組	代表取締役
井出 行俊	(株)いでほく	代表取締役
伊藤 晃	静岡県賀茂農林事務所	所長
伊藤 高義	富士川まちづくり(株)	代表取締役社長
伊東 哲夫	伊東法律事務所	所長
伊藤 充宏	静岡放送	報道制作局長
伊藤 稔	(株)共和	代表取締役

氏名	会社名	役職
糸島 稔和	キリンビール(株)静岡支社	営業部部长
稲田 精治	(社)三島市観光協会	会長
稲葉 明久	(一社)伊東観光協会	会長
今田 孝司	明治安田生命保険相互会社沼津支社	支社長
岩城 徹雄	(一財)アグリオープンイノベーション機構	専務理事兼事務局長
岩崎 清悟	静岡ガス(株)	特別顧問
植草慎一郎	(株)康報社植草新聞店	代表取締役社長
植田 勝智	(公財)ふじのくに医療城下町推進機構	ファルマパレーセンター長
植田 徹	富士市 県議会議員	県議会議員
植松 孝康	(株)植松グループホールディングス	代表取締役
植松 恒裕	静岡新聞社	取締役東部総局長
植松 眞	(株)トーヨーアサノ	相談役
臼井 良太	臼幸産業(株)	代表取締役
内田 豪	(株)ダイナナ	代表取締役社長
内田 進	熱海商工会議所	会頭
内野 聡	大岡建設工業(株)	代表取締役
宇野 統彦	(株)桃中軒	代表取締役会長
卜部 憲和	沼津市立病院	病院長
江藤 秀一	常葉大学静岡草薙キャンパス	学長
遠藤 茂美	日本ガス興業(株)	代表取締役社長
大石 剛	静岡新聞社	代表取締役顧問
大石 人士	(一財)静岡経済研究所	専務理事
大川 勝正	静岡県工業技術研究所沼津工業技術支援センター	センター長
大川 博幸	丸忠デジタル(株)	代表取締役
大塩 秀樹	黄瀬川自動車学校	代表取締役社長
大須賀紳晃	静岡新聞社	代表取締役社長
太田 長八	東伊豆町	町長
大瀧 博敏	(株)大瀧建築事務所	代表取締役
大塚 力	(株)証券ジャパン沼津支店	支店長
大坪 檀	静岡産業大学	総合研究所長
大西 真吾	富士通(株)沼津工場	工場長
大沼 裕之	特種東海製紙(株)	取締役執行役員 特殊素材カンパニー-CEO
大野 数芳	(株)大野商店	代表取締役
小笠原一夫	宇徳通運(株)	代表取締役社長
岡田 晃一	南駿農業協同組合	代表理事組合長
岡野 光喜		
岡部 克仁	南伊豆町	町長
荻田 勝雄	富士急シティバス(株)	相談役
荻田 雅宏	静岡新聞社	取締役編集局長

氏名	会社名	役職
刑部 治	(株)啓伸社	代表取締役
尾崎 元久	静岡県熱海土木事務所	所長
小澤 誠	静岡放送	取締役 放送本部副本部長 兼ラジオ局長
落合 功男	(株)大丸松坂屋百貨店 松坂屋静岡店	店長
小野 達也	伊東市	市長
小野 徹	小野建設(株)	代表取締役
影山 桓義	(株)影山運輸	代表取締役会長
河西晋二郎	沼津開発興業(株)	代表取締役
片淵 典利	(株)港	代表取締役
片山 劾	伊豆総合産業(株)	代表取締役社長
片山 倫一	静岡県信用保証協会	常務理事
勝俣 昇	御殿場市・小山町 県議会議員	県議会議員
勝又 規雄	ライオンファイル(株)	取締役会長
勝又 寛治	(株)沼広	代表取締役
勝間田雅仁	静岡新聞社	社長室長
加藤 晃太	(株)ホテル銀水荘	代表取締役社長
加藤 和彦	(株)コーゲツ	代表取締役
加藤 修一	(株)加藤工務店	代表取締役
加藤 元章	沼津市 県議会議員	県議会議員
加藤瑠美子	(学)加藤学園	副理事長
加畑 勝之	静岡県田子の浦港管理事務所	所長
川口 祐介	富士木材(株)	代表取締役社長
川島 誠司	(株)JT中部静岡支店	営業担当部長
河田 亮一	加和太建設(株)	代表取締役
川村 正行	SBSマイホームセンター(株)	代表取締役社長
川原崎康雄	(株)マキヤ	代表取締役
神田 洋美	静岡県総合健康センター	技監
木内 満	富士宮市 県議会議員	県議会議員
菊地 豊	伊豆市	市長
岸 重宏	河津町	町長
北岡 貴人	(株)暖香園	代表取締役社長
木村 拓	野村證券(株)沼津支店	支店長
木村 昌宏	木村美都子税理士事務所	税理士
桐部 都宏	(株)伊豆フェルメンテ	代表取締役社長
熊沢 一之	大和ハウス工業(株)沼津支店	支店長
黒岩 康	静岡県東部健康福祉センター	所長
黒崎 泰	コアレックス三栄(株)	代表取締役
桑原 順	大成有楽不動産(株)浜松営業所	名古屋支店長
紅野 正裕	沼津信用金庫	理事長

氏名	会社名	役職
小阪 秀彦	静岡新聞社	地域ビジネス推進局長
後藤 圭吾	損害保険ジャパン(株)東部法人支社	支社長
伍堂 文康	伊豆箱根鉄道(株)	代表取締役社長
後藤 行宏	(株)ゴトー	代表取締役会長
小長井義正	富士市	市長
小林 敏彦	スルガ銀行(株)	本店営業部 部長
小林 祥彦	ニッピコラーゲン工業(株)	常務取締役
近藤 千秋	近藤鋼材(株)	代表取締役社長
近藤 雄二	(株)TOKAIケーブルネットワーク	常務取締役
近藤 良夫	近藤良夫会計事務所	所長
金野 祥治	東海自動車(株)	代表取締役社長
齊藤 栄	熱海市	市長
齊藤 大	伊東ガス(株)	代表取締役社長
齊藤 弘幸	(株)コサウエル	代表取締役社長
佐伯 隆彰	(有)佐伯新聞店	代表取締役
坂本 光司		経営学者
佐々木敏春	中部電力(株)	常務執行役員 静岡支店長
佐藤 悟郎	スルガコンピューターサービス(株)	代表取締役
佐藤慎一郎	佐政水産(株)	専務取締役
佐藤 孝行	沼津魚市場(株)	代表取締役社長
佐藤 秀樹	(株)サトウ商会	代表取締役
佐藤 実	日本通運(株)静岡警送支店	支店長
佐藤 宗徳	(株)佐藤建設	取締役 副社長
佐野 富和	(株)エンビプロ・ホールディングス	代表取締役社長
佐野 禎彦	静岡県工業技術研究所富士工業技術支援センター	センター長
塩野 敏晴	(一財)静岡経済研究所	主席研究員
重森 涉	(株)建設システム	代表取締役
柴 浩行	静岡県賀茂地域局	次長兼地域課長
斯波 幹和	(株)サン	代表取締役社長
渋井慶次郎	東京電力パワーグリッド(株)静岡総支社	総支社長
嶋田 正男	(株)静岡伊勢丹	代表取締役社長
下田 城二	東海プラント(株)	執行役員
新西 規暁	ダイワロイネットホテルぬまづ	支配人
榛葉 英二	静岡放送	代表取締役社長
杉村 行弘	静岡県富士財務事務所	所長
杉本 恵介	住友生命保険相互会社沼津支社	沼津支社長
杉山 厚吉	静岡県富士農林事務所	所長
杉山 金芳	沼津商工会議所	専務理事
杉山 英文	FDブレイン&コンシェルジュ	代表



# 会員名簿

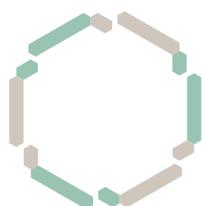
## ● 会 員 (2020年度)

氏 名	会 社 名	役 職
杉山 盛雄	沼津市 県議会議員	県議会議員
杉山 雄一	(株)杉山鉄工	代表取締役
杉山 嘉章	(一社)三島建設業協会	専務理事
鈴木 和江	観音温泉	代表取締役会長
鈴木佳代子	静岡県熱海財務事務所	所長
鈴木 和宏	御殿場高原ビール(株)	顧問
鈴木 正二	東静岡運送(株)	取締役会長
鈴木 澄美	富士市 県議会議員	県議会議員
鈴木 静一	東邦印刷包装株式会社	代表取締役会長
鈴木 経康	沼津情報・ビジネス専門学校	校長
鈴木 教郎	伊東ホテル聚楽	総支配人
鈴木 文三	サンコー防災(株)	代表取締役
鈴木 亮介	清水物産(株)	代表取締役社長
須藤 秀忠	富士宮市	市長
諏訪部照久	(株)スワベ商会	代表取締役社長
諏訪部敏之	丸善工業(株)	取締役会長
清野 眞司	(株)静岡中央銀行	代表取締役社長
関 義弘	清水町	町長
関本 芳英	東海金属工業(株)	代表取締役社長
副島 敏昭	積水ハウス(株)沼津支店	支店長
曾根 裕介	静岡県下田土木事務所	所長
曾根原容子	(有)エス.	代表取締役
園田 修司	富士通(株)静岡東部支店	支店長
高木 宣明	ユニプレスモールド(株)	代表取締役社長
高野 貴好	特定非営利活動法人沼津観光協会	会長
高村 謙二	裾野市	市長
滝浪 勇	(一社)ふじさん駿河湾フェリー	理事長
田島 源	静岡県沼津財務事務所	所長
田代 寿夫	(株)田代新聞センター	代表取締役
田子 博英	スルガカード(株)	代表取締役社長
田中 実	(株)伊豆新聞本社	代表取締役社長
谷川 治	静岡新聞社	常務取締役
田村 治義	ニューウェルサンピア沼津	総支配人
知久 昌樹	静岡新聞社	取締役営業事業本部副本部長 兼デジタルビジネス局長
千葉 慎二	(株)鈴木工務店	代表取締役会長
塚本 忠士	静岡県東部農林事務所	所長
土屋 隆男	木内建設(株)沼津支店	支店長
土屋 忠博	(株)電業社機械製作所	代表取締役会長
土谷 直人	ニッセー防災(株)	代表取締役

氏 名	会 社 名	役 職
土屋 紀雄	(株)土屋建設	代表取締役
土屋 正純	静岡県富士健康福祉センター	所長
土屋 源由	伊豆の国市 県議会議員	県議会議員
土屋雄二郎	雄大(株)	代表取締役会長
土屋龍太郎	土屋建設(株)	社長
堤 親朗	(株)イズラン	代表取締役
坪内 秀樹	清水町・長泉町 県議会議員	県議会議員
坪内 祐一	三島商工会議所	専務理事
土井 隆司	土井製菓(株)	代表取締役
土居 弘幸	岡山大学大学院	教授
土江 誠	(株)エム・オー・エー商事	取締役
豊岡 武士	三島市	市長
鳥居 清美	(株)エイワンスポーツプラザ	代表取締役
鳥澤 由克	裾野市 県議会議員	県議会議員
直井 稔一	ダイハツ沼津販売(株)	代表取締役社長
長澤 一成	(株)耕文社	代表取締役社長
長嶋 精一	松崎町	町長
中嶋 三恵	(株)山六ひもの店	代表取締役
中島 幹雄	(一社)熱海市観光協会	代表理事
中澤 正樹	東海ビハレッジサービス(株)	代表取締役
永田 龍彦	(株)SBSプロモーション	代表取締役社長
中田 次城	伊東市 県議会議員	県議会議員
中野 幸孝	(株)平安	代表取締役
中村 聡	(独)国立高等専門学校機構 沼津工業高等専門学校	校長
中山 勝	(一財)企業経営研究所	理事長
梨本 幸博	ネットトヨタ静岡(株)	代表取締役社長
西内 善信	総合警備保障(株)沼津支社	支社長
西尾 宏樹	SMBC日興証券(株)沼津支店	支店長
西島 昭男	(株)シード	代表取締役会長
西島 洋司	医療法人社団親和会西島病院	理事長
西宮 寿和	静岡県東部地域局伊豆観光局長	伊豆観光局長
仁科喜世志	函南町	町長
野田 治久	伊豆市 県議会議員	県議会議員
野村 勝也	(株)野村商店	代表取締役社長
羽切 勝利	株式会社 NNH	代表取締役
蓮池 章平	沼津市 県議会議員	県議会議員
長谷川 卓	(一社)伊豆市観光協会	会長
長谷部智久	国土交通省中部地方整備局 沼津河川国道事務所	事務所長
服部巖一郎	(株)チキリ	代表取締役社長

氏名	会社名	役職
羽野 久雄	羽野水産(株)	相談役 <small>(※2021年3月逝去)</small>
早川 育子	富士市 県議会議員	県議会議員
林田 尚翁	(株)静岡博報堂	代表取締役社長
原 広司	静岡県沼津土木事務所	所長
原川 篤	税理士法人奈良橋・山本会計事務所	代表社員
原口 茂	富士商事(株)	代表取締役
伴 卓	富士市 県議会議員	県議会議員
東岡 宏明	ひがしおかメディケアクリニック	院長
曳田 卓	沼津市 県議会議員	県議会議員
一杉 真城	ヒトスギ塾	会長
日吉 晴久	(株)テクノサイエンス	代表取締役
平井 一之	(一社)静岡県環境資源協会	専務理事
平井 敏雄	三島信用金庫	理事長
広岡 隆英	(株)ホテルグランド富士	代表取締役社長
廣田 直美	函南町 県議会議員	県議会議員
福島 英明	(株)関電工静岡支店	執行役員 静岡支店長
福島 豊	(株)静岡銀行	常務執行役員東部カンパニー長
福本 義彦	静岡ガス(株)東部支社	支社長
藤沼 和明	三島函南農業協同組合	代表理事組合長
藤曲 敬宏	熱海市 県議会議員	県議会議員
船村 雅彦	船村興産倉庫(株)	代表取締役
尾崎 元久	静岡県熱海土木事務所	所長
古屋 英将	(株)ミロク	代表取締役
星野 浄晋	西伊豆町	町長
堀田 大洋	沼津信用金庫	相談役 <small>(※2021年3月逝去)</small>
堀内 朗久	米久(株)	代表取締役社長
堀内光一郎	富士急行(株)	取締役社長
堀口 武彦	大同工業(株)	代表取締役
前田 磨	(株)前田建設	代表取締役
牧田 一郎	富士商工会議所	会頭
升森 淳治	日本電気(株)静岡東部支店	支店長
松岡林太郎	(一財)企業経営研究所	常務理事
松木正一郎	下田市	市長
松沢 正典	静岡放送	取締役編成業務局長
水崎 充	ネットヨタスルガ(株)	代表取締役会長
峰田 武	(公財)佐野美術館	名誉会長
宮沢 正美	三島市 県議会議員	県議会議員
宮本 修	(株)キクチ	代表取締役
村路 光義	日本生命保険相互会社沼津支社	支社長

氏名	会社名	役職
村松 重治	静岡新聞社	常務取締役
室伏 勝宏	みしまプラザホテル	代表取締役
望月 映延	静岡県農業協同組合中央会	東部支所長
望月 宏明	公益社団法人 静岡県観光協会	専務理事
森 竹治郎	下田市・賀茂郡 県議会議員	県議会議員
森崎 祐治	静岡コンサルタント(株)	代表取締役
森田 紀	沼津食品衛生協会	会長
森田 邦裕	(株)エー・エル・シー	代表取締役社長
矢田部盛男	三嶋大社	宮司
柳原 一貴	(株)アウンズ・ヤナギハラ沼津支社	代表取締役社長
山崎 克之	西日本電信電話(株)沼津営業支店	営業支店長
山下 顕広	沼津リバーサイドホテル	代表取締役専務
山下 正芳	静岡県賀茂健康福祉センター	所長
山下 哲宏	静岡県下田財務事務所	所長
山下 正行	伊豆の国市	市長
山中 啓壽	(株)山中兵右衛門商店	代表取締役
山口 武史	静岡県賀茂地域局	局長
山邊 義貞	日本製紙(株)富士工場	富士工場長
山本 東	静岡県東部地域局	局長
山本 勝則	富士宮信用金庫	理事長
山本 司	(株)伊藤園	静岡地区営業部長
山本 豊一	公認会計士税理士山本豊一会計事務所	所長
山本 英志	スルガ銀行(株)	営業本部 営業推進部 部長
山本 弥之	(株)太洋社	代表取締役
横溝有美子	第一生命(株)沼津支社	支社長
横山 滋	サンワフーズ(株)	代表取締役
横山 秀雄	静岡新聞社	取締役 販売・地域戦略本部副部長
吉野 聖一	(株)吉野エージェンシー	代表取締役
四本 康久	富士宮市 県議会議員	県議会議員
頼重 秀一	沼津市	市長
若林 洋平	御殿場市	市長
和久田恵子	(株)ダイワ・エム・ティ	代表取締役社長
和田 篤夫	御殿場市・小山町 県議会議員	県議会議員
渡邊偉佐男	(株)フジテック	代表取締役
渡辺幸一郎	(株)MISH	代表取締役
渡邊 隆司	アスルクラロスルガ(株)	代表取締役社長
渡邊 治彦	(株)SBS情報システム	代表取締役社長
渡邊武一郎	日本大学国際関係学部	学部長
渡邊 好孝	沼津市商工会	会長



# 会員名簿

## ● 県東部市長・町長（2021年度）

氏名		
齊藤 栄	熱海市	市長
菊地 豊	伊豆市	市長
山下 正行	伊豆の国市	市長
小野 達也	伊東市	市長
池谷 晴一	小山町	町長
岸 重宏	河津町	町長
仁科喜世志	函南町	町長
若林 洋平	御殿場市	市長
関 義弘	清水町	町長
松木正一郎	下田市	市長
高村 謙二	裾野市	市長
池田 修	長泉町	町長
星野 浄晋	西伊豆町	町長
頼重 秀一	沼津市	市長
太田 長八	東伊豆町	町長
小長井義正	富士市	市長
須藤 秀忠	富士宮市	市長
長嶋 精一	松崎町	町長
豊岡 武士	三島市	市長
岡部 克仁	南伊豆町	町長

## 〈 会員の交代 〉（2021年度）

氏名	会社名	役職
青木 克裕	静岡県賀茂地域局	次長兼地域課長
池ヶ谷規文	静岡県沼津土木事務所	所長
磯崎 猛	静岡県東部地域局	次長兼地域課長
大石 顕志	野村證券(株)沼津支店	支店長
神山 正之	静岡県東部健康福祉センター	所長
榊原 正彦	静岡県下田土木事務所	所長
鈴木 淳史	(株)静岡銀行沼津支店	執行役員支店長
佐藤 広昭	静岡県富士財務事務所	所長
竹原 佳孝	東海ピハレッジサービス(株)	代表取締役
田中 尚	静岡県賀茂健康福祉センター	所長
谷口 智康	静岡放送	編成業務局長
中西 芳弘	(一社)三島建設業協会	専務理事
野本 貴之	富士通Japan(株)静岡東部支店	支店長
長谷川達哉	静岡県熱海財務事務所	所長
原田 直彰	静岡県下田財務事務所	所長
古屋 徹之	静岡県熱海土木事務所	所長
松村 昭宏	静岡県沼津財務事務所	所長
望月 辰彦	静岡県東部農林事務所	所長
柳川 典之	静岡県東部地域局伊豆観光局長	伊豆観光局長
藪崎 武彦	静岡県賀茂農林事務所	所長
山根 正嗣	静岡県賀茂地域局	局長
吉川 正剛	静岡県田子の浦港管理事務所	所長







## 2020年度を振り返って

サンフロント21懇話会 運営委員長

伊東法律事務所 所長

伊東 哲夫

2020年度は新型コロナのパンデミックに明け暮れた年でした。世界的感染拡大という未曾有の危機に見舞われ、この難局はいまだに続いています。

我が国においては、長期にわたる安倍晋三政権に代わり菅義偉内閣が発足した年でした。昨年9月の発足当初こそ勢いを感じさせたものの、その後の内閣支持率は下落が続き、その後も回復することなく、支持率不支持率が拮抗しながら上下動を繰り返している状況にありました。支持率を回復しないのは、緊急事態宣言を再発令したにもかかわらず感染拡大を抑えることができなかったコロナ対応への不満、政治と金の問題等から自民党への批判が要因となっていたと思います。

これからも暫くの間、コロナの感染拡大防止と景気浮揚の両立という難しいかじ取りを迫られる状況の中で、衆院の解散・総選挙の時期を探っていくなくてはなりません。

海外では、米大統領選でトランプ氏を破って民主党のバイデン政権が誕生しました。トランプ氏の「アメリカファースト」の時代は終わりを告げました。終わりに辺り、トランプ氏は大統領選挙後に「選挙の不正」を理由に敗北を認めず法廷闘争を続けるという異例の事態、更にはトランプ氏の支持者が連邦議会議事堂に乱入、占拠という前代未聞の事件が起こってしまいました。米国社会の分断の深刻さを露呈した象徴たる出来事でした。

バイデン政権誕生により、政治体制が大きな転換点を迎える中で、新たな時代へ向けてアメリカにも世界にも様々な変化、それに対す

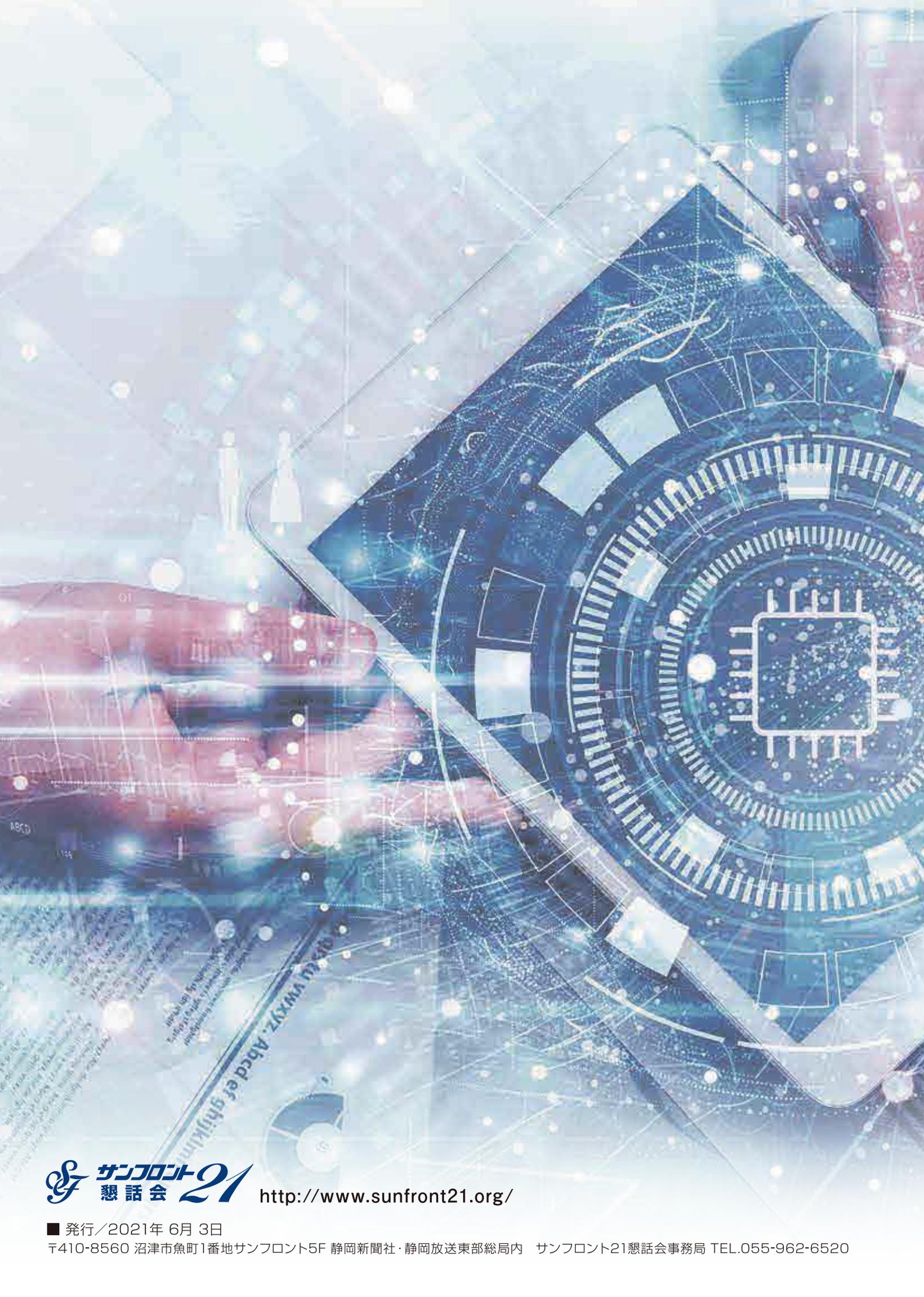
る対応が加速していくものと期待します。注視すべきは、前政権から緊張状態が続く対中関係についてのバイデン政権の外交です。何故ならば、その間にある、日本への影響がどのようになり、それに対し、日本政府はどのような舵取りをするかです。難しい課題です。

さらにパンデミックが続くなかで東京五輪・パラリンピック開催問題です。伊豆市や富士山麓などで自転車競技が行われる場所なので、正に「静岡県」の問題でもあります。ウィズコロナ時代の五輪・パラということで、感染対策に万全を期し何とか開催できればと思っています。

朗報としては、トヨタ自動車が裾野市で未来型実証都市「コネクティッド・シティ」の建設を開始するという新たな動きです。

激動の時代を乗り越え、サンフロント21懇話会の21年度は、「地域創生につながる新産業創出と既存産業の持続的発展を支援」「新たな観光価値創造への取り組みを支援」「動物愛護と福祉思想の普及活動と新たな展開を支援」「原・浮島地区のまちづくり構想実現を支援」という4つの活動方針を踏襲し、活動を展開していきたいと思っています。コロナ禍の影響で各会合の開催が難しい中、21年度も昨年同様、各分科会や全体会をオンライン形式で開くなど、工夫を続けてまいります。

サンフロント21懇話会は、今後も観光振興や地域活性化につなげるための支援の在り方を模索していきます。東部地区のさらに力強い歩みに向け、会員各位の一層のご支援と、ご協力を伏してお願いする次第です。



 サンフロント21  
懇話会

<http://www.sunfront21.org/>

■ 発行/2021年 6月 3日

〒410-8560 沼津市魚町1番地サンフロント5F 静岡新聞社・静岡放送東部総局内 サンフロント21懇話会事務局 TEL.055-962-6520